

盛	中	A	
澤	野	上	}
水	澤	田	
横	太	田	{
	岡	田	
	戸	田	}
	太	田	
		代	}



盛中 A 6  
3 3  
0 0  
0 岩中 B

第一回戦 キックオフ午前九時五十五分

岩中 A 内橋寺  
枋高小野  
川村  
花村田  
竹瀧武

F.W. {  
H.B. {  
T.B. {

盛中 B 藤卷山  
近藤勝  
櫻田  
金子  
笹原

岩中 A 14  
8 6  
0 0  
0 盛中 B

準決勝 キックオフ午後一時五十五分

岩中 A 内橋寺  
枋高小野  
川村  
花村田  
竹瀧武

F.W. {  
H.B. {  
T.B. {

仙工 B 卷野月  
八今望  
佐藤  
原村澤  
栗木竹

岩中 A 14  
6 8  
0 0  
0 仙工 B

決勝 キックオフ午後二時五十分

岩中 A 疲労の色濃くも選手一同元氣にて

決勝にのぞむ。

梅中 A 中澤藤邊  
田長後  
渡  
槇田須  
吉那

F.W. {  
H.B. {  
T.B. {

岩中 A 内橋寺  
枋高小野  
川村  
花村田  
竹瀧武

岩中 A 0  
0 0  
0 6  
6 梅中 A

(前半)梅中のキックオフ、一分岩中自陣

三十ヤード邊のタイスより球を得、キックにて敵陣に雪崩込むも、オフサイドにてペナルティーを得らる。三分タッチより球を得たる梅中突込んで来るも、よくタツクルにてこれをはぐみしが、選手益々疲労を加へ、四分中央邊のルーズより梅中球を得、H.B.T.BとわたりT.Bのドリイブルにてゴール直下にトライ、コンヴァートならず、岩中奮起しドリブルにてせめしが又もペナルティーを得らる。六分岩中陣前の混戦より梅中ドリブルに出、ハーフ飛込んでトライ、コンヴァートならず、後岩中敵ゴールにせまりしもキックで返されハーフタイム。

(後半)岩中魂を發揮猛然と敵ゴールにせまりしも、疲労のため體力續かず次第にゴール前まで追ひつめらる。よくキックで返すも、十分敵タッチより逆襲岩中陣にせまりしをタツクルにてよくふせぎ遂にノータイム。

嗚呼かくて我等ラグビー部は今年始めての遠征に決勝で敗れた。然し秋こそ此のグラウンドで榮冠を得る事を誓つた。

顧みて、體力の持続性と熾烈なファイトの習得を後輩諸君に望む

### 對 醫 專 戰

四月二十七日午後四時半  
於 上田醫專グラウンド

主審 波多野 線審 大村、菊池

校 掛川(修)西(芳)内邊寺 上橋 村田藤藤越  
本 角瀬吉葛吉枋河小 井高 川武佐加川

F.W. {  
H.B. {  
T.B. {  
F.B. {

澤澤崎田浪 山本林子 内田米澤原  
關 良河 ケ  
成三須竹竹 春岡平伊 黒岡堀斗猪



岩 中 3 { 3 0 | 8 14 } 22 醫 專

對 奧 電 戰

五月十二日午後三時十分  
於 上田醫專グラウンド

主 審 關

線 審 島村、森田

校 掛川(修)西(芳)内邊寺 上藤 村田橋花越

本 角瀬吉葛吉枋河小 井佐 川武高竹川

F.W. { } H.B. { } T.B. { } F.B. { }

電 藤飯原池(德)澤子 木山木 田澤

笠 木

奧 齋本小菊 佐々木大圓 八柵鷹 太穴 佐々木村

岩 中 6 { 3 3 | 5 6 } 11 奧 電

對 盛 中 戰 (春期定期戰)

六月十五日午後四時

於 上田醫專グラウンド

校 掛川(修)西邊内寺 上橋 村田藤花越

本 角瀬吉葛河枋小 野 井高 川武佐竹 川

F.W. { } H.B. { } T.B. { } F.B. { }

中 地上野田澤原山 田田田 川子田

澤 笹田 代

盛 谷水澤橫長藤勝 櫻太岡 坂金戸 太

岩 中 3 { 0 3 | 8 6 } 14 盛 中

岩手醫專主催北日本ラグビー大會

決勝 對盛中

九月二十九日午前十時四十分

於 上田醫專グラウンド

主 審 關 線審 黒川、戸賀澤

校 掛川(修)西(芳)寺内 邊越橋 花澤(大)村

本 角瀬吉葛吉小枋 河川高 竹佐武川 武田(武)

F.W. { } H.B. { } T.B. { } F.B. { }

中 地上山田澤坂野 田田田 川子田

澤 笹田 代

盛 谷水勝橫長花澤 櫻太岡 坂金戸 太

岩 中 6 { 3 3 | 5 0 } 5 盛 中

(前半)岩中キックオフと同時に敵陣に突進、F・Wよくがんばり敵ゴール前にせま。四分敵陣三十ヤード邊のタイトより、F・Wのドリブルにうつり、敵ゴール内を竹花押さへてトライ、コンヴァートならず(3-0)。

盛中キックと共に意氣物すごく突込んで来る、岩中キック、タツクルにてよくこの突進を主將武田好タツクルにてはばんだが齒と腰に負傷退場のやむなきに至つた、主將の退場後敵の進撃は愈々強くなつて來たがよくこれをはばみハーフタイム。

(後半)盛中キックオフと共に猛然と突込んでくる、高橋よくキックにて此の突進をはばむも中心人物武田の退場により次第にゴール前まで押されしがF・Wよく球を取りてキックにて敵の進撃をさまたぐ、十五分ゴール前のタイトより敵球を得T・Bのパスにて戸田トライ、コンヴァート成る(3-5)。

岩中意氣ものすごく、キックと共に敵ゴール前迄突進するもペナルティーにて返さ



る。その後は中央ラインをはきんで一進一退。餘す所二分となる、中央邊のルーズより竹花單身ドリブルに出敵ゴール中央にトライ、コンヴァーとならず(6-5)。

敵キックと共に最後と突込んで来るをよく防ぎ、F・Wのドリブルにて敵陣に逆襲するもドロップにて返され、遂にノータイム。嗚呼勝てり、宿敵盛中に勝てり、先輩が何回も手にしたあのカップを手にした時の嬉しさ!!

此の日主將武田の退場のため非常に不利な立場になつたがよく不屈の精神力と完璧のチームワークによつて勝つ事が出来た。我等は技術のみならずチームワークが勝利を得るのに如何に大切であるかを身を以て體驗した次第である。

## 東日主催全國ラグビー

### 東北地區岩手豫選對盛中戰

十一月十日午後二時三十五分

於 上田醫專グラウンド

主 審 三 木

線 審 堀 米、岡 田

校 掛川(修) 西木寺 邊村橋 花越田内井  
本 角瀬吉吉葛鈴小 河川高 竹川武枋 駒

F.W. H.B. T.B. F.B.

中 地山山田澤田野 田田田 川坂森 子

澤 笹

盛 谷水勝横長岡天 櫻太戸 坂花大 金

岩 中 6 3 3 5 0 5 盛 中

此の日開戰前よりの降雨のためグラウンドは泥の海と化した。

(前半)「トス」に勝つ、盛中のキックオフに始まり選手よく闘志に燃え敵を呑み、始めより敵ゴール前に迫る。雨の爲めボールは手につかずドリブル戦を展開。二十二分敵ゴール前、五ヤードのタイトより球を得川村強引に突込んだが惜しくもトライ出来ず。武田敵ゴール内に入り落球したのを河邊押さへてトライコンパーとならず(3-0)。

盛中キックと共に猛襲を繰り返すも、高橋武田よくキックにてタッチに出し、オー

ブン戰の中にハーフタイム。(3-10)

(後半)岩中キックと共に意氣益々あがり五分敵ゴールに迫りしもペナルテ多く、キックにて返され盛中ドリブルにて岩中ゴール前に迫る、盛中チャンスとばかり猛烈に突込んで来るのを、よくタツクルで防ぎ川越の好キックは又敵の突進を防ぎF・W・T B・共によく敵を抑へゴール前の防禦をなすこと十五分に及ぶも、よく先取得點を守つて遂にノータイム。

我等は勝てり、二度勝てり。

此の日の勝利は部長先生を始め諸先輩、特にコーチ宮永さんの指導によると共に應援團の熱烈なる聲援によるものであること考へるとき上記の皆さんに何と云つて感謝してよいか解らない。

## 東日主催全國中等ラグビー

### 大會東北地區決勝戰

對仙臺市立工業戰

十一月二十四日午後一時

於 仙臺評定河原帝大グラウンド

主 審 岩 淵 氏



校 掛川(修芳) 西木寺 邊村橋 花越田内井  
本 角瀬吉吉葛鈴小 河川高 竹川武枋 駒

F.W.

H.B.

T.B.

F.B.

工 月野友部澤籠卷 原(竹)上 司井野(紀) 藤

仙 望今大阿竹堀八 栗佐村 庄菅中佐 藤 佐

本校 3 0 3 8 11 仙 工

(前半)仙工キックと共に突進するを岩中直ちに攻め返し元氣よく敵ゴール前に壓迫し続ける中四分敵ゴール前にペナルテを得武田のドロップゴールなる。(3-0)

仙工キックと共に岩中陣に迫りしも再び敵ゴール前に逆襲。絶對優勢裡にあるうち三點の先取得點のために安心の氣持が出たせいか仙工の逆襲に會ひ九分敵ウイングパントによるゴール内の球を飛込んで捕へてトライ、コンパイトならず(3-3)。

岩中F・W・非常に調子よくスクラムより球を取るも仙工のタツクルに潰される、二十六分仙工はT・B駒井を潰して得た球を

ゴール右にパントをあげT・B押へてトライ、コンパイトなる(3-8)。

そのまゝハーフタイム。

(後半)岩中奮起よく攻めたがペナルティ多く又フオアードのヒールアウトも上々の調子であつたが依然仙工のタツクル正確に會ふなどして中央線をはさみ一進一退を繰返す中二十分仙工、ゴール前の左のラインアウトの球をT・Bのパスにて左隅にトライ、コンパイトならず(3-11)。

岩中最後の一分迄と必死挽回に努めしが成らずノータイム。

我がラグビー部は三度仙臺にて敗れた。

此の戦は部長先生の涙の出る様な努力と數多くの先輩諸兄の恩恵とにより必勝を期して出場したのであつたが遂に何らの報ひも出來ずにしまつた。來年こそ必ず此の恩恵に報ひてもらひたい。

最後に來年度への注文を列記し下級生諸君の精進を願つて止みません。

- 四、先取得點せるも最後迄頑張り
- 五、主將には絶對に服従すべし
- 六、試合には必ず勝つ事
- 七、節度ある練習

一、精神的向上

二、完全なチームワーク

三、正確なドリブル、タツクルの習得